

## 新年の希望をのせて凧あがる 新春凧揚げ大会開催される



平成21年新春凧揚げ大会は、1月18日に荒井地区公民館とグラウンドで開催されました。この大会は、青田・荒井・仁井田・岩根地区公民館などの主催で、各地区の子どもから大人の皆さん約100名が参加し、交通安全や防犯の願いを込めた凧の絵、形やあがり具合を競いました。雪が溶けてグラウンド状態は悪かったものの、子どもたちは元気に走りながら凧を揚げていました。

## 福を呼び込む“だんご” 保育所で「だんごさし」を体験



1月14日に第3保育所の子どもたちは「団子さし」を体験しました。団子さしを体験したのは「つきぐみ」と「ほしぐみ」の子どもたち。白、赤や緑の団子を丸めて、みずきの枝にさしていました。団子さしは、小正月の行事で、豊作を祈ったり、鬼払いなどの意味があるそうで、先生から「白い団子は友達と仲良く、赤い団子は情熱をもって勉強できるように、緑は植物が丈夫に育ち丈夫な体になるように」と説明を受けた子どもたちは、それぞれ願いを込めながら団子を木にさしていました。

## 寒さを吹飛ばし、メーン！ 第33回新春剣道大会

第33回新春剣道大会は、1月11日に白沢中学校体育館で開催されました。本宮市白沢剣友会（国分久義会長）の主催で、市内小中学校から71名の選手が集まり、小学生団体、部門別個人戦で熱戦を繰り広げました。



## ハッピーライス！！ 個人でコシヒカリの品種を登録出願

鈴木清和さん（荒井字荒井）は、栽培期間が短く、倒伏にも強い特長を持つコシヒカリの変異種を発見して育種し、国への品種登録を出願し受理されました。正式な登録はこれからですが、研究機関以外で品種登録を行うことはまれで、鈴木さんは宮城県古川農業試験場や福島県農業総合センターの指導を受けながら、5年の歳月をかけてようやく登録出願にこぎつきました。「五百川」と名付けたこのお米は、食味もコシヒカリとそん色なく、冷めても美味しいのが特長。鈴木さんは「栽培期間が短いから、6月末に植えても10月初旬に刈取りできる。農家も5月の連休はゆっくり休める」と話しています。



(上) 右の稲が「五百川」。稲の丈が短いのが特長。  
(左) 「五百川」の稲穂を手にする鈴木さん。



(上) 消防出初式の通常点検の様子。  
(下) 女性消防協力隊の皆さんも一緒に分列行進をしました。

## ご活躍を期待しています！！ 千葉ロッテマリーンズの根本朋久投手が帰郷

千葉ロッテマリーンズの根本朋久投手は、シーズンオフの休みを利用して、ふるさと本宮市に帰郷しました。1月3日の岩角山大梵天祭にはゲストとして登場、大梵天を奉納し祭りを盛り上げました。1月5日には、父久一郎さんとともに市役所を訪れ、市長に現在の状況や今年にける決意を話していただきました。佐藤市長は「勝負の世界は厳しい、苦勞があると思うが頑張って活躍してほしい」と激励。根本投手は「今年は決意を新たに頑張ります。次を目指す方の目標になればと思う。応援よろしくお願ひします」と話していました。ご活躍を期待したいと思います。



## 一年の無火災・無災害を祈願 消防出初式挙行される

消防出初式は、1月4日に本宮運動公園多目的グラウンドにおいて開催されました。消防出初式には、消防団員、女性消防協力隊、南消防署員、来賓をあわせて約530名が参加しました。式では殉職消防団員に対する黙祷を行った後、渡辺一雄団長が「市民の安心・安全の向上のため、より一層関係機関との密接な連携をお願いしたい」と訓示。佐藤市長は「皆さんの昼夜を問わない活動に敬意を表する。市内の無火災・無災害のため、さらにご協力いただきたい」と訓示が述べられました。消防団と女性消防協力隊の皆さんは、出初式終了後、市内荒町から本宮駅前を通って中央公民館まで分列行進を行い、沿道のみなさんに無火災・無災害をPRして歩きました。この日は、晴れ間が広がったものの、冷たい風が吹く中での出初式となりました。参加された皆さん、お疲れ様でした。



「カメラ散歩」では、皆さんの「ホットで楽しい」話題を掲載しています。皆さんからの情報もお待ちしております。

秘書広報課広報広聴係 ☎33-1111 (内線220)

## 笑い声が響きました！ 「親子で鑑賞できる狂言」公演



本宮市文化スポーツ振興基金事業として、12月13日にサンライズもみやで、「親子で鑑賞できる狂言」が、午後と夜の部の2回公演で開催されました。狂言は初めて観るという方が多く、会場には子どもからお年寄りまで幅広い年齢層の皆さんが詰めかけました。演目が始まると、会場は狂言の世界へ引き込まれ、笑い声が大ホールに響き渡りました。「また観たい」という方が多かったようです。